



JR四国労働新聞

J R S U

2024年
11月15日
No.5 (545)

四国旅客鉄道労働組合
〒760-0021 高松市西の丸町11-9
TEL (NTT) 087-851-1378
(JR) 086-2597~2598
http://jrso.jrsu.com/
発行責任者/大谷 清
編集責任者/和田 庄平

年末手当・年末賞与 交渉スタート!

JR四国

将来にわたりJR四国が社会的使命を果たすためにも「人財の確保・定着」は不可欠!
期末手当を通じた人に対する投資を求める!!
JR四国との年末手当交渉は、10月24日に1回目の交渉を行い、次のとおり要求の主旨を説明するとともに、出席した交渉委員より組合員の想い、年末手当の必要性を熱く訴えた。

【要求主旨】
会社を取り巻く経営環境は、景気回復基調が継続する見込みであるものの、物価高騰等、依然として先行き不透明な状況にある。組合員は目下、要員不足が慢性化・深刻化する厳しい状況下において奮闘を続け、「安全・安定輸送」を第一義に業務に励んでいる。加え

て、JR四国グループの収入確保に向け、各種営業施策や積極的な経費削減及び業務の効率化に取り組んでいる。特に、「TAKAMATSU ORNE」の好調な営業推移や新松山駅の高架切り替え工事及び開業は、まさに組合員の奮闘による成果といえる。

JR四国労働組は「JR四国グループ長期経営ビジョン2030」等の達成に向け、労使一丸となって各種施策を推進するとともに、労働組合の立場からも「ユニオンビジョン2023」を提起し、組合員にとって明るい将来展望を切り拓くべく取り組みを進めている。将来にわたってJR四国が社会的使命を果たし続けるため、事業継続に不可欠である人財の確保と定着化を如何にして図るか

が最大の経営課題。期末手当を通じた「一人」に対する投資を行い、組合員が生き生きと働き続けることのできる環境にあると示すことが極めて重要であり、誠意ある回答を強く求める。

◆「1回目交渉」交渉委員より組合員の想いを熱く訴えた。◆要員状況が深刻化する中においても、超勤や休日出勤等、相互に助け合いながら日々の安全・安定輸送を支えてきた。直近では、多客期・大雨等への対応、新松山駅の開業に対しても、エキスパート、契約社員とともに一丸となって乗り越えた。賃金は最大のモチベーションと捉え、準組合員の一時金やエキスパート組合員の係数撤廃を含め会社のメッセージがしっかりと伝わる回答を期待する。

◆今春のベースアップ、今秋の労働協約改訂交渉をはじめ、この間の経営回復と併せ、連続性をもった諸労働条件の改善がなされた結果、組合員のモチベーションは高まりをみせている。一方で、依然続く物価高騰が組合員の生活に大きな影響を与えていることから、人財の確保・定着を図るためにはボーナスでも持続的に応えていく必要がある。

◆コロナ禍以前の鉄道運輸収入を見込むことは容易ではないが、非鉄道事業でも成果は出ている。JRで働く者にふさわしい水準を求める。◆組合員数は明らかに減少し、1人あたりの貢献度が増加している。加えて、四国外の企業とも労働条件等比較されやすくなか、世間でもベースアップが広がり、ボーナスを含む賃金水準が高まっているため、離職防止、採用競争力確保の観点からも賞与水準の改善が不可欠。

(詳しくは、JR四国労働ニュースNo.11を参照)

少し、1人あたりの貢献度が増加している。加えて、四国外の企業とも労働条件等比較されやすくなか、世間でもベースアップが広がり、ボーナスを含む賃金水準が高まっているため、離職防止、採用競争力確保の観点からも賞与水準の改善が不可欠。

◆「1回目交渉」交渉委員より組合員の想いを熱く訴えた。◆要員状況が深刻化する中においても、超勤や休日出勤等、相互に助け合いながら日々の安全・安定輸送を支えてきた。直近では、多客期・大雨等への対応、新松山駅の開業に対しても、エキスパート、契約社員とともに一丸となって乗り越えた。賃金は最大のモチベーションと捉え、準組合員の一時金やエキスパート組合員の係数撤廃を含め会社のメッセージがしっかりと伝わる回答を期待する。

◆今春のベースアップ、今秋の労働協約改訂交渉をはじめ、この間の経営回復と併せ、連続性をもった諸労働条件の改善がなされた結果、組合員のモチベーションは高まりをみせている。一方で、依然続く物価高騰が組合員の生活に大きな影響を与えていることから、人財の確保・定着を図るためにはボーナスでも持続的に応えていく必要がある。

◆コロナ禍以前の鉄道運輸収入を見込むことは容易ではないが、非鉄道事業でも成果は出ている。JRで働く者にふさわしい水準を求める。◆組合員数は明らかに減少し、1人あたりの貢献度が増加している。加えて、四国外の企業とも労働条件等比較されやすくなか、世間でもベースアップが広がり、ボーナスを含む賃金水準が高まっているため、離職防止、採用競争力確保の観点からも賞与水準の改善が不可欠。

◆「1回目交渉」交渉委員より組合員の想いを熱く訴えた。◆要員状況が深刻化する中においても、超勤や休日出勤等、相互に助け合いながら日々の安全・安定輸送を支えてきた。直近では、多客期・大雨等への対応、新松山駅の開業に対しても、エキスパート、契約社員とともに一丸となって乗り越えた。賃金は最大のモチベーションと捉え、準組合員の一時金やエキスパート組合員の係数撤廃を含め会社のメッセージがしっかりと伝わる回答を期待する。

◆今春のベースアップ、今秋の労働協約改訂交渉をはじめ、この間の経営回復と併せ、連続性をもった諸労働条件の改善がなされた結果、組合員のモチベーションは高まりをみせている。一方で、依然続く物価高騰が組合員の生活に大きな影響を与えていることから、人財の確保・定着を図るためにはボーナスでも持続的に応えていく必要がある。

◆コロナ禍以前の鉄道運輸収入を見込むことは容易ではないが、非鉄道事業でも成果は出ている。JRで働く者にふさわしい水準を求める。◆組合員数は明らかに減少し、1人あたりの貢献度が増加している。加えて、四国外の企業とも労働条件等比較されやすくなか、世間でもベースアップが広がり、ボーナスを含む賃金水準が高まっているため、離職防止、採用競争力確保の観点からも賞与水準の改善が不可欠。

(詳しくは、自動車ニュースNo.3、4を参照)

要求内容(要旨) 【JR四国】

- ◆申第7号「2024年度年末手当の要求について」
○要求額 基準内賃金の2.3ヵ月分
- ◆申第8号「2024年度準組合員(エキスパート社員)の年末一時金の要求について」
○基礎額 基本賃金及び高年齢調整手当の合計額に2.7を乗じた額
※基礎額に乘じる係数の撤廃
- ◆申第9号「2024年度準組合員(契約社員)の年末一時金の要求について」
○パートナー社員(月給・日給適用者)の要求額

調査期間内勤務日数	四国地区	大阪地区	列車乗務員	アテンダント
65日以上	90,000円	113,000円	101,000円	101,000円
120日未満				
120日以上	180,000円	226,000円	202,000円	202,000円

・パートナー社員(月給・日給適用者)のうち、基準額該当者が契約更新が3回以上ある者は5,000円加算
☆支払日は全て2024年12月6日(金)

要求内容(要旨) 【ジェイアール四国バス】

- ◆申第10号「2024年度年末賞与の要求について」
○要求額 基本給額の2.6ヵ月分
- ◆申第11号「2024年度準組合員(契約社員)の年末賞与の要求について」
(1) パートナー社員(定年退職再雇用者)
基準額 契約基本賃金の2.6ヵ月分
(2) パートナー社員(月給・日給適用者)

調査期間内の勤務日数	運転係	構内運転係	営業係等
65日以上	196,000円	185,000円	175,000円
120日未満			
120日以上	392,000円	370,000円	350,000円

調査期間内の労働時間	支給額
240時間以上350時間未満	90,000円
350時間以上450時間未満	135,000円
450時間以上550時間未満	202,000円
550時間以上650時間未満	219,000円
650時間以上750時間未満	236,000円
750時間以上850時間未満	255,000円
850時間以上950時間未満	275,000円
950時間以上	294,000円

☆パートナー社員・サポーター社員について、基準額該当者が契約更新が3回以上ある者は5,000円加算
☆支払日は全て2024年12月6日(金)

最大の経営課題。コロナ禍で極めて厳しい施策を示されたが、組合員・家族の理解と協力を得ながら、苦境を乗り越えてきたからこそ、今年度「黒字基調を確かなものとする」一事業計画を掲げることができたし、要員不足の中であったが、職場内で協力し合いながら、安全・安心輸送に励んできた。

現状、運輸収入は事業計画を下回る推移だが、運行に係る経費も減少しており収支は落ち込んでいないと想定する。引き続き、事業計画の達成に向け、安全・安心輸送を継続しながら取り組むが、事業運営の根幹である人財がバス産業全体から離れてしまっている状況を懸念する。会社がさまざまな採用活動を強化しているが、現実として要員需給は改善されていない。

単にバス業界の他社と比較するのではなく、ジェイアール四国バスとして人財を確保し、長く働き続けられる環境を整備することが必要不可欠。この間の春闘や夏季賞与等の結果は、組合員の

モチベーションにつながっており、感謝の声も多く届いている。しかしながら、各職場では要員不足によって業務負担が増大し疲弊している。年末賞与は生活給としての性格も強く、家族を含めた期待感が強い。安全・安心輸送を支える組合員のモチベーション維持・向上、採用競争力強化の観点からも年末賞与は極めて重要。「一人への投資」は「安全投資」「成長投資」であり、会社を信じて、ともに苦境を乗り越え、奮闘してきた組合員の想いに応えるべく、年末賞与を通じた誠意ある回答を強く求める。

◆最重要課題である安全についてあらゆる機会を通じて呼びかけている。背景に経営が回復しており、これこそ組合員の努力の賜物。頑張つて良かったと思えるよう、会社は誠意をもって応えるべき。

◆収入を増やす必要がある中、要員不足により、運休している状況にあるが、これはコロナ禍における会社の対応が原因であること認識すべき。採用が続く一方で、ベテラン乗務員が離職しており、ともに長く働く仲間が会社を去ることによる負の連鎖を懸念する。

◆組合員の理解のもと、改善基準告示を含め様々な施策に協力してきた。直近でも休憩箇所の変更や、内勤者の乗務対応等影響を受け続けている。車両更新も必要だが、人がいなければ、運行はできず、「一人への投資」を強く求める。

